

幾代会 観 察 会(2022年5月)の ま と め

- ◆日 時 2022. 5. 1 (日)
- ◆散策場所 大塚山公園と風の子太陽の子広場
- ◆ポイント キンランを求めて
- ◆散策ルート : 東青梅駅～大塚山公園～風の子太陽の子広場～青梅駅
- ◆参加者 太田さん, 武藤さん, 浅井さん, 石川さん, 岡さん, 宇津木さん, 土方さん
羽深さん, 須崎さんと越前の10名、下見4月22日 4名



◆感想 参加者からの一言

- ・とても気持ち良かった
- ・駅から近い大塚山にこれほどの野草が有るとは思わなかった
- ・久しぶりにキンラン、ギンランが見られて良かった
- ・久しぶりに大塚山に来られた
- ・何時も来ていたが名前を知っていたジュウニヒトエが分かって良かった
- ・こんな場所にフデリンドウが有って驚いた
- ・知り合いの市川さんがキンランの保全をしていて驚いた
- ・そして私は皆さんの要望通り省略コースで戻り、それほど降られずに帰れて良かったデス。

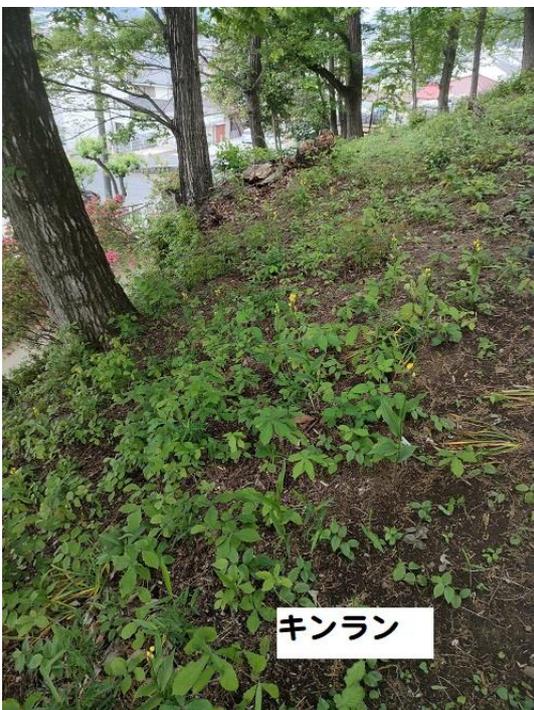
◆5月の植物観察会のポイント2点

- キンラン属について

品種名	花の色	距	全長	葉	毛の有無
キンラン	黄色	短い	60以下、	葉は5~10枚	なし
ギンラン	白色	長い	30センチ、	葉は3枚から5枚、	なし
ササバギンラン	白色	短い	50以下、	直線的で先が尖る、 、苞葉が花と同じか長い	細毛有
クゲヌマラン	白色	距目立たない	50以下、	葉はササバに似る、	なし

青梅で見られるキンラン属の特徴をまとめました。

キンランは花の色が唯一黄色なので間違えませんが、他の三種は表で確認すると識別が出来ます。



●植物は凄い

植物は30数億年前の昔から進化を繰り返し、まぶしい太陽の光を求め長い年月をかけて海中から約4億年前に上陸しました。

デモ地上に上がってみると紫外線が強すぎて植物には過酷な環境でした。

私たち人間も紫外線により体内に有害な活性酸素が生じて老化や病気の原因に成り、時には白内障、皮膚がん、シミ、しわを引き起こします。

この有害な活性酸素の害を消すために何時も紫外線を浴び続ける植物は抗酸化物質のビタミンCやビタミンEを自ら作り出して体を守ります。

人間は植物である野菜や果物から健康に生きるために抗酸化物質を得て病気に成らないように長生きできるように心掛けます。

植物は自らの体を守る力を備えていて凄い〜〜〜です。

●散策路の植物

集合場所の東青梅駅に先月休みだった土方さん、須崎さん、羽深さんの顔も見られてニコニコでした。「ミナさんの顔が見られて嬉しいです」と須崎さん。

ところが土方さんは来客とのことで参加は駅までです。

忙しいのに仲間の顔を見に来てもらい有難うございます。

今月は3回も下見が出来たので時間が取れたら何時でも案内しますよ。



レースフラワー

大塚山公園の近くの人家で、この頃、見かける見ごろの白いレースフラワーが涼しげに咲いていた。

チョット歩くと目の前に色とりどりのツツジが急斜面に咲いた大塚山公園が見えてきました。「えっあの急階段を登るの」イエイエ大丈夫です。

隣に立派な緩やかなスロープがあります。坂を登ると左の崖上に40cも有るような数本の立派なキンランが見えました。公園内を左折して脇から左斜面に入ると、キンランの群生~~50本以上有るかな何処からとなく「駅からこんな近い公園なのに」根生葉がないフデリンドウの観



タニウツギ

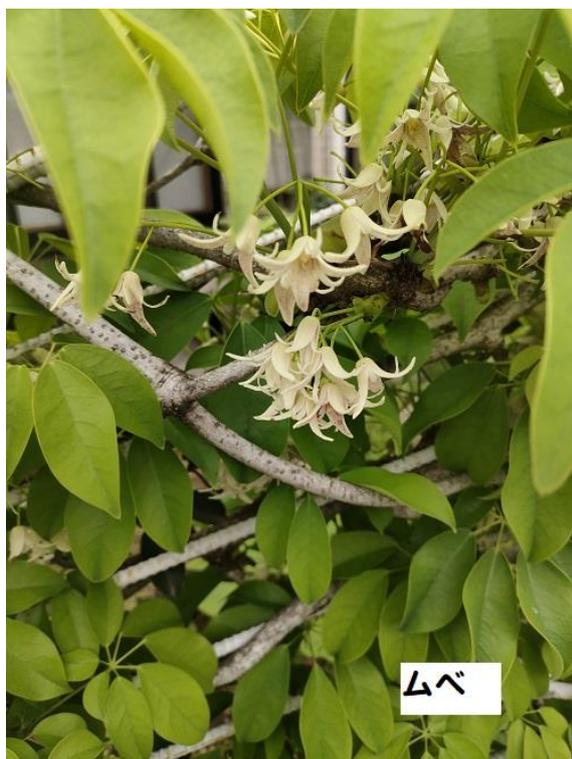


カマツカ

察。春には他にもコケリンドウ、ハルリンドウが咲きます。
大塚山公園の北側のキンランの群生を確認し、青梅4小側で植栽されたピンクの多数の花を付けたタニウツギや白のヒメウツギの花を観賞。
大塚橋のたもとで満開の白い五弁のカマツカを見て、あれやこれやとお喋り。
大塚橋で霞川を渡り西へ西へと風の子太陽の子広場へ向かいます。



カルガモ



ムベ



ミズキ

霞川ではカルガモの夫婦かな～～澄んだ水にスイスイと気持ち良さそう。何時までも仲良くね。
人家のフェンスにはアケビ科で常緑の薄黄色のムベの花が下向きにたわわです。霞川沿いにピンクの花を付けたのはヒメフウロ、黄色い花のクサノオウ、紫色のオオアラセイトウ、クサイチゴやマルバウツギと色々な野草が見られました。誰からともなく「この道沿いでこれほどの花が見られるとは嬉しい」
風の子太陽の子広場の近くで上向きにカップ状に咲く白い花のミズキが見ごろ。あらまあ～～今年初めて見ましたよ。

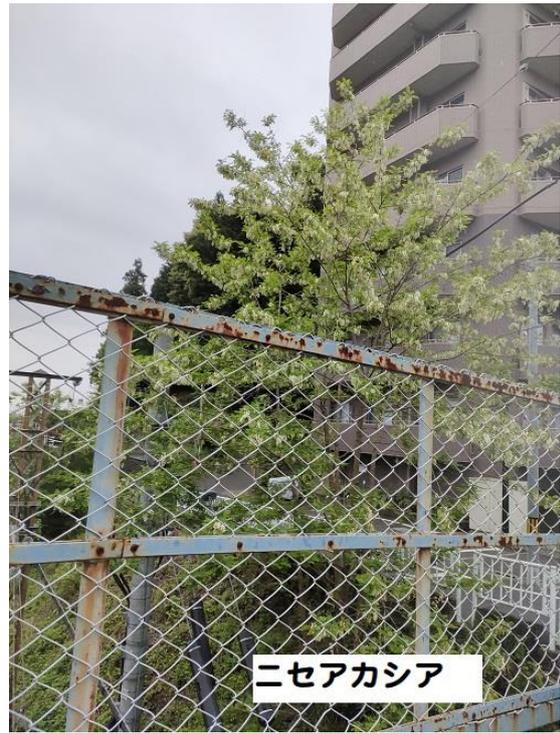
園内に入るとガクアジサイのような花を棚上に付けたヤブデマリ。
そして葉が小ぶりで茎に穴が無い山のフキがひとまとまりに丁度、取り頃。
何時も気を使って貰う須崎さんに積んで貰いました。
管理棟の傍で花が垂れ下がった藤棚近くのベンチに腰を掛けてお昼です。
足元にはムラサキサギゴケとシロサギゴケ。



良く似たトキワハゼは花が小ぶりでランナーがありません、
それにしても両方のサギゴケの群生が見られて良かったです。
北側の深い森は国交省の特別保全地区に指定されている「青梅の森」、南側の尾根は「永山丘陵ハイキングコース」で、周りには人工物がいっさい見えない贅沢な深い自然の中です。
お昼を終え、更に西側の相撲場の近くで 30 本前後のササバギンランを鑑賞。
あらまあこんなに多くの絶滅危惧種を間地かで見られて幸せです。
次は池の傍で全員そろって食べごろのセリ摘みです。
これまで野草摘みに余り興味のなかった岡さんも「先月の蕨は柔らかくて美味しかったよ」食べることが大好きな太田さんは「越前さんにはかなわないのよネ」オホホ～どうもありがとう。
ぽつりぽつりと心配したと雨が降り出し、ショートコースで永山公園から青梅駅に向かいました。
野生ツツジの代表種・オレンジ色の山ツツジに見送られて永山公園のスロープを足取り軽く全員でスタスタと降ります。



ヤマツツジ



ニセアカシア

青梅線の陸橋からは5 m前後のニセアカシアの木全体に垂れ下がった白い花が見えて、思わず足を止めました。

それにしても青梅の駅前は私が住む梅郷より花が早いです。

ニセアカシア横のマンションの傍で皆さんから今日の感想。

徒歩で帰宅の浅井さんとはここでお別れ。

青梅駅前に再オープンした町の駅の花束の前で記念撮影。ニッコリ～～

浅井さん、写っていないくてすいません。



町の駅で

何時も真面目な石川さんにはメモを取って貰い恐縮です。

今日もお喋り一杯の思い思いの楽しい一日を有難うございました。

来月はあきる野市の地藏院へカゴノキの巨樹を見に行きます。

越前記